

6	バレーボール
ビジョン	チームで協力した活動ができる医療人になる
ゴール	バレーボール初心者がルール・フォーメーションを理解し試合ができるようになる。
理由	学部・学校を混ぜてチームを作ってバレーボールを行っているが、必ずしもコミュニケーションが図れているとはいえない。コミュニケーションを図りチームで協力できるようになるとよいと思われる。
知の成果物	スポーツとしてのバレーボールに臆することなく、積極的に参加できる。
身につく力(目的)	・コミュニケーション能力 ・情報収集能力 ・自己決定力 ・グループダイナミックス
学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム編成(学部・学校混合、経験者・初心者混合) ・パス、レシーブの練習(経験者が初心者に教える) ・サーブの練習(経験者が初心者に教える) ・チーム対抗試合(ビデオ撮影) ・試合の振り返り(チーム毎に分析、戦略) ・バレーボールを上達させるための情報(プロのDVD等と比較) ・チーム毎に練習(内容はチーム毎に考える) ・チーム対抗試合(ビデオ撮影) ・試合を振り返りレポートにまとめる(前回の試合と比較して改善された点を確認)
活動の特徴	チームプレーを通じてコミュニケーション能力を養う
班主任名	今村誠司 医療科学部 臨床検査学科
<初回>活動場所	生涯教育研修センター2号館1F 104
<通常>活動場所	サブグラウンド
<雨天時>活動場所	生涯教育研修センター2号館1F 104